

「愛媛FCを好きになると、愛媛がもっと好きになる」

学生時代と社会人時代を合わせて14年。

これは私が愛媛で暮らしている年数です。

人生の半分にはまだ至っていませんが、家を構え、子どもを授かり、このまま愛媛に骨を埋めようと思っています。

でも生まれ・育ちが大阪なので、愛媛では「よそ者」として接されることも少なからずあり、もっと愛媛とのつながりを深くしたいという想いを抱いていました。

そんなときに出会ったのが愛媛FCでした。

『RUN』（小宮良之・著）の主人公・福田健二選手が見たくてスタジアムに足を運んだのがきっかけでしたが、県外出身の選手たちが愛媛のために懸命に戦っている姿に強いシンパシーを感じました。

特に同じ大阪出身の川北裕介選手には、プレーはもちろん、練習態度やサポーターへの丁寧な対応など、全てにおいて真摯な姿勢に尊敬の念を抱きました。

また、スタジアムで偶然顔を合わせた大学時代の後輩や仕事での知り合いとは愛媛FCの話題で盛り上がるようになり、親交が深くなりました。

そして、愛媛FCと共に愛媛を盛り上げようと活動している方々をはじめ、愛媛FCを通じた新たな出会いも数多くありました。

スタジアムでは生粋の愛媛県民も、よそ者も関係ありません。共に愛媛FCを応援することで、一体感、連帯感を感じられることが非常に心地よいです。

愛媛FCは私に愛媛への一層の愛着と深いつながりをもたらしてくれました。

今では県外で仕事のプレゼンをする際に愛媛FCのユニフォームを着用して愛媛をアピールするまでに至りました。

最近では、転勤で県外から引っ越してきた人にこう言って愛媛FCの試合の観戦を勧めています。

「愛媛FCを好きになると、愛媛がもっと好きになりますよ！」

愛媛県松山市 男性 35歳 愛媛FC観戦歴2年目